

科目名		ビジネスマナー			
担当教員	小林 美江		実務授業の有無	×	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>組織、お客様、取引先などと良好な人間関係を保ちつつ、仕事の成果をあげるためにビジネスマナーを身につける。</p> <p>また、9月に受験をする社会人常識マナー検定に向けて、過去問題は宿題で行い、合格点に達しない学生は補講を行い、合格できる準備を整える。</p> <p>対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	社会人常識マナー検定に合格できる、ビジネスマナーを身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	株式会社ウイネット 実践ビジネスマナー 公益社団法人全国経理教育協会 社会人常識マナー検定試験				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	仕事に取り組む心構え		P8-12 教務室入退室・書類の提出の仕方チェック		
2	報告・連絡・相談、会社の組織		P13-16 指示を受けて業務を遂行し報告するロールプレイング		
3	基本動作、言葉の遣い方		P18-30 お辞儀・椅子の座り方チェック		
4	受付の仕方、名刺の渡し方		P32-40 受付ロールプレイング		
5	取り次ぎの仕方、案内の仕方		P41-48 受付→応接室案内ロールプレイング		
6	応接室の案内の仕方、お茶の出し方、環境整備		P49-56 お茶出しロールプレイング		
7	電話の受け方、伝言メモ		P55-69		
8	電話のかけ方		P70-76 インターンシップ確認電話ロールプレイング		
9	慶事業務		プリント		
10	弔辞業務、お見舞い		プリント		
11	社内で使用する備品、郵便の取り扱い		プリント		
12	ビジネス文書とは、社内文書作成の仕方、メールの送り方		プリント iPad(スマホ)でメール作成送信添削		
13	社外文書作成の仕方		プリント PC(iPad)で社外文書作成提出添削		
14	お礼状の作成の仕方		プリント 直筆でお礼状作成提出添削		
15	期末試験				
16	期末試験、解答・解説				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			積極的にロールプレイングに取り組み、提出物の期限は守ること。 インターンシップ前後に行う電話がけやお礼状作成など、マニュアル通り行えないことを理解し、臨機応変に対応できるように毎日の学校生活でもビジネスマナーを意識すること。		
実務経験教員の経歴					

科目名		コンピュータ実習 I			
担当教員	古俣 秀子		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	日本語文章入力のある程度の速さで、正確に行えるようにする Wordの理解を深め、活用できる基本技能を身につける 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	Word文書処理技能認定試験 3級 取得				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	Word2016 クイックマスター 基本編 Word文書処理技能認定試験 3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	新規フォルダー作成・ファイルコピー Chapter1 Wordの基本		授業の目的の理解 Windows基本操作、基本知識の重要性		
2	Chapter2 文字の入力と編集の基本操作 Chapter3 文書の編集		日本語入力の基本操作の確認 正確な入力的重要性、コピー・移動の状況に応じた方法		
3	Chapter3 文書の編集		Wordにおける段落書式の重要性		
4	Chapter3 文書の編集 Chapter4 文書の印刷		C2～3で学習した内容を該当設問で確認		
5	Chapter5 文書の作成		タブ機能の重要性の理解、タブ設定とタブ挿入の理解 ルーラーの重要性の確認		
6	Chapter6 表を使った文書の作成		表作成・編集の基本の理解、操作に応じたりボンの確認 C4～6で学習した内容を該当設問で確認		
7	Chapter7 図形や画像を使った文書の作成		オブジェクト作成・編集操作の基本の理解		
8	練習問題1		QMで学習した機能を確認しながら設問解答 実用目的の成果物として完成させる		
9	練習問題2～		「作成」ファイルと「編集」ファイルの保存の必要性、名前を付けて保存と上書き保存の理解の重要性		
10	練習問題		完成確認後、各自で次の練習問題に進む 練習問題2「編集」の確認と疑問点などの確認・回答		
11	練習問題		"		
12	模擬問題		"		
13	模擬問題		"		
14	試験実施プログラム 模擬問題		プログラム操作方法・試験の流れの確認 画面配置に慣れる。解答ファイル採点		
15	試験実施プログラム サンプル問題		前問題振り返り 時間計測して実施 解答ファイル採点		
16	検定				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			パソコンスキルはどの業界へ就職しても必須となります。パソコンの基本的な操作の仕方、文書作成の方法をしっかりマスターしましょう。授業中に分からない事や上手く出来なかった事は休み時間を利用して練習をしましょう。		
実務経験教員の経歴		一般向けパソコン教室において20年以上関わっていた			

科目名		就職実務 I			
担当教員	竹石 拓矢		実務授業の有無	×	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>毎日の生活を豊かに有意義に過ごすためにも、自分らしい生きがいややりがいを持って働くためにも、働く意義をしっかりと理解した上で就職活動を進めていく。 身だしなみセミナー、求職登録面接、就職研修、インターンシップを通して、翌年(翌々年)の就職活動を意識する。 対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	<p>就職活動の心構えと流れを知ることができる。 自分と職業を理解することができる。</p>				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	これからどう生きていくか、一生でどのくらい稼げるのか、どんな生活を送りたいか、社会はどんな人材を求めているのか		動画1-1~4		
2	チャンスを逃がさない、働く理由を考える		動画1-5~6		
3	伝わる文章の書き方、相手を納得させる論理力、構成を考える		動画3-1~3		
4	自己PRのネタを探す、自己PRの骨格をつくる、説得力のある自己PRをつくる		動画3-4~6		
5	BtoBとBtoCの違いを知る、業界について考える、職種について考える		動画2-1~3		
6	求職登録面接とは何か、求職票作成の仕方、インターンシップとは何か、インターンシップ申込書作成の仕方		プリント		
7	求職票作成、自己PR作成、面接練習①		個別作業		
8	求職票作成、自己PR作成、面接練習②		個別作業		
9	求職票作成、自己PR作成、面接練習③		個別作業		
10	身だしなみセミナー、求職登録面接		女子メイクセミナー、男子身だしなみセミナーを受講 求職登録面接を受ける		
11	インターンシップ履歴書作成の仕方		プリント		
12	企業研究の仕方、志望動機の書き方		動画2-4、3-7		
13	履歴書作成、志望動機作成①		個別作業		
14	履歴書作成、志望動機作成②		個別作業		
15	インターンシップ日誌の作成の仕方、身だしなみについて		プリント、動画5-1		
16	就職研修		インターンシップに向けての心構えと問題事例、また今後の就職活動に向けての心構えを学ぶ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			書類作成や面接練習をすることもあるので、毎回授業に出席し、提出物などの遅れがないようにする。面接練習は必ず事前に準備しておくこと。		
実務経験教員の経歴					

科目名		コミュニケーション実践 I			
担当教員	竹石 拓矢		実務授業の有無	×	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>対面交流場面における「話す」行為において、相手の状況を正しく理解した上で、自分の意志を目的や場面に応じた適切な表現でわかりやすく示し、効果的に相手に伝えることを学ぶ。 コミュニケーション検定初級合格を目指すために、対策授業を行い、合格点に達しない者は補講を行う。 対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	<p>周囲の人と「話す」こと、「聞く」ことによって円滑なコミュニケーションをとることができる。 コミュニケーション検定初級合格ができる。</p>				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	株式会社サーティファイ コミュニケーション検定公式ガイドブック&問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	コミュニケーションを考える、目的に即して聴く		P2-9		
2	傾聴・質問する		P10-14		
3	目的を意識する、話を組み立てる		P15-22		
4	言葉を選び抜く		P23-29		
5	表現・伝達する		P30		
6	来客対応		P36-39		
7	電話対応		P40-43		
8	アポイントメント・訪問・挨拶		P44-48		
9	情報共有の重要性、チームコミュニケーション		P49-59		
10	接客・営業、クレーム対応		P60-71		
11	会議・取材・ヒアリング、面接		P72-82		
12	模擬問題		P84-99		
13	過去問題①		P100-115		
14	過去問題②		P116-131		
15	過去問題③		P132-148		
16	コミュニケーション検定				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。</p>			<p>コミュニケーション検定合格のために、毎回授業に出席する。</p>		
実務経験教員の経歴					

科目名		人と動物の関係学			
担当教員	山崎 恵子	実務授業の有無	○		
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	現在、国際的に動物愛護がどのように進んでいるのか？日本の現状は？今後取り組んでいく課題は何なのか？を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	日本や世界の動物業界の現状や動物福祉のあり方について理解することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	動物の代弁者になることについて				
2	真の動物愛護とは				
3	ブリーディングの問題				
4	飼い主の責任				
5	動物の死とペットロス				
6	シェルターワーク				
7	動物虐待				
8	災害時の動物				
9	犬のデイケア				
10	犬猫の行動学				
11	Tタッチ理論				
12	Tタッチ実践	特別講義			
13	動物愛護教育				
14	動物保護活動				
15	期末試験				
16	エコ・ツーリズム				
17	動物愛護法				
18	アニマル・エシックス(実験動物・産業動物)				
19	アニマル・エシックス(展示動物)				
20	アニマル・エシックス(補助犬)				
21	安楽死とペットロス	特別講義			
22	動物愛護法と動物の福祉	特別講義			
23	期末試験				
24	動物との共生				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。		全ての授業に出席し、かつ毎回のテーマごとにレポートを提出すること。			
実務経験教員の経歴	一般社団法人アニマル・リテラシー 総研				

科目名	AAA実習				
担当教員	青木 和孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	36
授業概要、目的、授業の進め方	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係と心理学的および社会的側面から理解する。 また、動物介在活動を安全に実施するにあたり必要な配慮やリスク管理を理解する。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	人と動物の調和に関わることを学ぶことができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	職員作成パワポ資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	人と動物の関係の歴史		パワポ資料		
2	人と動物の関係のなりたち		パワポ資料		
3	人と動物の絆について		パワポ資料		
4	動物が人に及ぼす影響について		パワポ資料		
5	動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育の定義		パワポ資料		
6	動物介在療法の事例紹介		パワポ資料		
7	動物介在活動の事例紹介		パワポ資料		
8	動物介在教育の事例紹介		パワポ資料		
9	参加動物の選別基準		パワポ資料		
10	参加動物に適した育成方法の選択		パワポ資料		
11	さまざまな人と動物の関係		パワポ資料		
12	AAIIにおける人獣共通感染症のリスク		パワポ資料		
13	ストレスの把握とストレス管理		パワポ資料		
14	訪問活動に向けて		パワポ資料		
15	期末試験				
16	期末試験の振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			科学的なエビデンスに基づいた人と動物の相互関係の理解。動物福祉を考慮した参加動物の選別とトレーニング法の選択を理解する。		
実務経験教員の経歴	動物看護師として動物病院で現在も勤務中				

科目名		飼養管理士総論			
担当教員	山谷実生		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	56
授業概要、目的、授業の進め方	動物が「命」あるものとし、「人と動物の共生」が必要となっている。そのための動物種の生態、管理や飼育方法について知識を身に付ける。また、動物に関連する法理についても学ぶ。 愛玩動物飼養管理2級の合格に向け、授業を行っていく。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	動物に関わる法律を理解し、動物種の生態・飼育方法をアドバイスできるようになる。 愛玩動物飼養管理士2級の取得。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	愛玩動物飼養管理士2級教本				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	鳥類について 形態的特徴、飼養管理(インコ、オウム)		単元が終了した時点で必ず確認テストを実施		
2	鳥類について 飼養管理(フィンチ、ニワトリ、アヒル、ハト)				
3	鳥類について 繁殖、確認テスト				
4	からだの仕組み からだの成り立ち、栄養・酵素を取り入れる				
5	からだの仕組み 老廃物の排出、情報を取り入れる、情報伝達				
6	からだの仕組み 確認テスト				
7	愛玩動物飼養管理士の社会活動				
8	愛玩動物飼養管理士とは				
9	愛玩動物飼養管理士について 確認テスト				
10	動物愛護論Ⅰ 海外と日本について				
11	動物愛護論Ⅰ 動物愛護運動について				
12	動物愛護論Ⅰ 確認テスト				
13	人と動物の関係学①				
14	人と動物の関係学②				
15	人と動物の関係学 確認テスト				
16	期末テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴		専門学校教員歴 15年			

科目名		エキゾチックアニマル I			
担当教員	広川 美紀		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	現在飼育されている動物は、犬猫だけではないため、生体の特徴、飼育方法を理解する。 販売に携わる際には、飼育方法をアドバイスできるようになる。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	愛玩動物飼養管理士2級合格。飼い主に飼育アドバイスが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	愛玩テキスト2巻				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ウサギ 飼養管理				
2	ハムスター 飼養管理				
3	モルモット 飼養管理				
4	フェレット 飼養管理				
5	チンチラ 飼養管理				
6	犬猫分類、歴史				
7	犬、猫の特徴				
8	犬猫と暮らす、環境				
9	犬猫のライフサイクル①				
10	犬猫のライフサイクル②				
11	犬猫の社会化				
12	しつけについて				
13	犬猫の毎日の生活 食事				
14	犬猫の発情、健康管理				
15	テスト+(解説)				
16	解説				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴					



科目名	動物関係法規				
担当教員	竹石 拓矢		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物取扱現場及び、公衆衛生、環境関連の動物関連の法規について理解を深め、動物福祉と安全な社会づくりに貢献する専門職として順守の精神を養う。 愛玩動物飼養管理士2級合格へ向けて、検定出題範囲の関連法について理解を深める。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	愛玩動物飼養管理士2級合格 する法規範と倫理を理解することで、動物取扱業者における業務を円滑に行えるようにする。 基づく疾病予防等の飼い主義務について飼い主への助言が出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	パワーポイント、レジュメ 愛玩動物飼養管理士2級第1巻				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動物関連法令を学ぶ意義、日本の法令体系		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
2	動物愛護管理法の概要と基本原則、飼い主の責任		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
3	動物の飼養・保管に関する基準		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
4	動物取扱業者①		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
5	動物取扱業者の責務		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
6	動物取扱業者②、虐待と罰則、		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
7	特定動物、愛護管理法の普及啓発		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
8	動物愛護推進員と犬猫の収容		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
9	周辺の生活環境の保全		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
10	愛護法振り返りテスト		動物愛護法について振り返りテストの実施		
11	狂犬病予防法		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
12	身体障害者補助犬法		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
13	ペットフード安全法		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
14	鳥獣保護法、ペット業界の現状とこれからの課題		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
15	鳥獣保護法、ペット業界の現状とこれからの課題		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
16	期末試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			本科目は愛玩動物飼養管理士2級合格に必要な法規範の知識を習得する。授業で配布する資料についても熟読が必要。		
実務経験教員の経歴	ドッグトレーナーとして約1年間トリミングサロンにて勤務				

科目名	解剖・生理学				
担当教員	山下 静香		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物の体の基本構造やはたらきをまず理解した上で、各組織での検査や代表的な疾患を把握する対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●動物の体のしくみやはたらきを理解することができる</li> <li>●各組織における検査の種類や手技、代表的な疾患を把握し、ケアすることができる</li> </ul>				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	緑書房 ビジュアルで学ぶ 動物看護学[第2版]、緑書房 ビジュアルで学ぶ 伴侶動物解剖生理学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業概要、体の基本構造について		伴侶動物解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
2	外皮系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
3	運動器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
4	神経系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
5	感覚器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
6	感覚器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
7	循環器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
8	循環器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
9	呼吸器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
10	上部消化器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
11	下部消化器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
12	泌尿器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
13	内分泌系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
14	生殖器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
15	期末試験				
16	期末試験の振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			動物病院での実習や勤務を想定し、動物の体の基本構造から検査や疾病、看護師としての仕事も併せて履修する。 解剖生理学は難しい分野ととられがちなので、現場での経験などを踏まえながら、より身近に感じられるように意識する。		
実務経験教員の経歴	動物看護師として約4年勤務				

科目名		動物栄養学			
担当教員	川口 和清		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物の健康維持に必要な栄養素を学び、その基礎知識を活用して各論の学習に進む準備のため、まずはイヌとネコの六大栄養素についての知識を、動物の生理学に立脚した栄養学を総論として学び、様々なペットフードやパンフレットに記載されている専門用語を理解し、飼い主に適切な栄養相談および指導を行う際の基礎知識を習得する。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	栄養学総論に基づいて、注意すべき食材を知り、必要エネルギー量の指導ができ、イヌとネコに必要な栄養素の違いが説明でき、ライフステージ別の栄養指導ができることを目的として学習する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	(株)インターズー発行 ビジュアルで学ぶ動物看護学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動物栄養学総論		テキスト、資料を使用		
2	基礎栄養学		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
3	基礎栄養素 水、タンパク質①		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
4	基礎栄養素 タンパク質②		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
5	基礎栄養素 炭水化物、脂肪		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
6	基礎栄養素 ミネラル、ビタミン		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
7	イヌとネコの栄養要求の違い①		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
8	イヌとネコの栄養要求の違い② ライフステージ別の栄養管理①		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
9	ライフステージ別の栄養管理②		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
10	ライフステージ別の栄養管理③		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
11	ライフステージ別の栄養管理④		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
12	ライフステージ別の栄養管理⑤ ペットフードの表示の見方①		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
13	ペットフードの表示の見方② BCS評価とカロリー計算の仕方①		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
14	BCS評価とカロリー計算の仕方②		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
15	ペットフードの種類		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
16	まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			解剖生理の復習、小テストを実施し、理解度を確認する。		
実務経験教員の経歴	ペットフードメーカーにて企画開発・営業等に携わった				

動物飼育実習 I					
科目名					
担当教員	佐山 恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	104
授業概要、目的、授業の進め方	<p>実習前座学：実習前に必要な知識を伝え、なぜ行うのか理由から方法を覚えられるようにする  実習：座学で得た知識を実践する。到達目標を細かく刻み、自信を持ってもらう。  掃除においてはインターンシップと基本となる項目。  動物を触るだけが、仕事ではないため、率先して動ける人材へ。  対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	個体別の生活様式から正常と異常を見極め、適正な動物飼育を身につける				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	動物看護実習テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	アレルギー調査、実習スタイルについて、飼育室の出入り方法		教員が見本となる、実習室への見学		
2	消毒や手洗いの実施について、犬について(PD、テキスト)		理由を明確に伝え納得させる、犬の触れ合い		
3	猫について(PD、テキスト)、管理帳の記入の仕方について		管理帳見本を配布し記入させる、猫の触れ合い		
4	小動物(ウサギ、モルモット、ハムスター)について		自作プリントを配布、小動物の触れ合い		
5	飼育室の見学(物の配置確認)、掃除の仕方、洗濯方法		先輩に指導を受ける、メモをとる		
6	病気の予防や診察について、日誌の書き方		日誌を実際に書いてもらう		
7	実習前の総確認、小テスト		実習に必要な技術を見直す		
8	フィードバック		覚え直し		
9	(実習)犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー(犬)への接触方法、管理方法を学ぶ		
10	(実習)猫の管理、お世話、食事について		WaNファミリー(猫)への接触方法、管理方法を学ぶ		
11	(実習)ウサギの管理、お世話、食事について		WaNファミリー(ウサギ)への接触方法、管理方法を学ぶ		
12	(実習)モルモットの管理、お世話、食事について		WaNファミリー(モルモット)への接触方法、管理方法を学ぶ		
13	(実習)ハムスターの管理、お世話、食事について		WaNファミリー(ハムスター)への接触方法、管理方法を学ぶ		
14	(実習)犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー(犬)への接触方法、管理方法を学ぶ		
15	期末試験(筆記)		正しい知識を覚えているか		
16	フィードバック		間違えたままにせず、確認を行う		
17	(実習)犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー(犬)への接触方法、管理方法を学ぶ		
18	(実習)猫の管理、お世話、食事について		WaNファミリー(猫)への接触方法、管理方法を学ぶ		
19	(実習)ウサギの管理、お世話、食事について		WaNファミリー(ウサギ)への接触方法、管理方法を学ぶ		
20	(実習)モルモットの管理、お世話、食事について		WaNファミリー(モルモット)への接触方法、管理方法を学ぶ		
21	(実習)ハムスターの管理、お世話、食事について		WaNファミリー(ハムスター)への接触方法、管理方法を学ぶ		
22	(実習)犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー(犬)への接触方法、管理方法を学ぶ		
23	(実習)猫の管理、お世話、食事について		WaNファミリー(猫)への接触方法、管理方法を学ぶ		
24	(実習)ウサギの管理、お世話、食事について		WaNファミリー(ウサギ)への接触方法、管理方法を学ぶ		
25	(実習)モルモットの管理、お世話、食事について		WaNファミリー(モルモット)への接触方法、管理方法を学ぶ		
26	(実習)ハムスターの管理、お世話、食事について		WaNファミリー(ハムスター)への接触方法、管理方法を学ぶ		
27	(実習)犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー(犬)への接触方法、管理方法を学ぶ		
28	(実習)猫の管理、お世話、食事について		WaNファミリー(猫)への接触方法、管理方法を学ぶ		
29	(実習)ウサギの管理、お世話、食事について		WaNファミリー(ウサギ)への接触方法、管理方法を学ぶ		
30	(実習)モルモットの管理、お世話、食事について		WaNファミリー(モルモット)への接触方法、管理方法を学ぶ		
31	期末試験(筆記)		正しい知識を覚えているか		
32	フィードバック		間違えたままにせず、確認を行う		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。</p>			<p>飼育経験のない動物もいることから、接触方法や飼育管理方法の違いについて習得し、実践する。若手意識が出ないよう、わからないことをそのままにせず先輩や先生に質問し、自信をつけていく。</p>		
実務経験教員の経歴					

科目名	グルーミング理論				
担当教員	箕輪穂乃香		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	グルーミング実習を行う上でのグルーミングの目的、流れ、道具名、使用方法を学ぶ。グルーミングを行う上での注意点を理解する。また、犬種についての知識も学ぶ。対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	犬種への理解を深め、犬種ごとに必要なグルーミング方法を選択できるようになる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	インターズー ドッグ・グルーマーズ プロフェッショナル・ワークブック インターズー 最新犬種図鑑				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	グルーミングの目的、トリマーの心構えについて				
2	シャンプー剤の知識、グルーミングの流れ・注意点①				
3	グルーミングの流れ・注意点②、道具の使い方				
4	スタンダードの理解、体表の生理				
5	犬種について 1G、2G、3G		各グループの中の代表犬種について学ぶ		
6	犬種について 4G、5G、6G				
7	犬種について 7G、8G、9G、10G				
8	期末試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	専門学校教員歴 15年				

科目名	グルーミング実習				
担当教員	山田佳枝		実務授業の有無	×	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必須	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物のプロとして必要な日頃のケアについて学ぶ。グルーミングの流れ、注意点について学ぶ。対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	グルーミングの流れを理解し、道具を正しく使い、グルーミングが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	グルーミングの目的、流れ、注意点について 道具の名称、使い方について				
2	グルーミングデモンストレーション		実際のグルーミングを見て、犬の扱い方を学ぶ		
3	グルーミング実習(実践)チワワ等				
4	グルーミング実習(実践)パグ等				
5	グルーミング実習(実践)ポメラニアン等				
6	グルーミング実習(実践)ブードル等				
7	グルーミング実習(実践)シュナウザー等				
8	期末試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	専門学校教員歴 15年				

科目名		しつけトレーニング実習				
担当教員	金子 真弓		実務授業の有無	○		
対象学科	ペットケア・ビジネス		対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修		単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	1.犬のトレーニング実技を行う。 2.実際の道具やデモンストレーションを見る。 3.テキストやホワイトボードを使用し内容を説明。 対面授業で実施。					
学習目標 (到達目標)	正の強化と負の強化を使ったトレーニング方法を理解し、実行できるようになる 犬と関わる上での必要な事や必要な物を理解する					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	犬の問題はこうして直す「THE Tool Box」					
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考				
1	・犬の観察・しつけとは？、問題行動とは？飼い主にとって好ましくない行動→好ましい行動として肯定文として説明					
2	・リーダー、アルファとは？上下関係、主従関係×、ハビオの絵解について、所有欲について・おもちゃで遊ぶことについて ・リードの持ち方、遠くでリード、近くを歩く、回す	テキスト使用				
3	・飼い主の手を良いものに学習させる・“ピーナツバター療法”でケア時に条件付け、マズルコントロール、アルファロール× ・トレーニング＝回す、オスワリ、フセ(誘導で)	テキスト使用				
4	・ケージ/クレートに飼って(何故ケージが必要か？) ・オスワリ、フセ、夕字をそれぞれの姿勢から誘導 オスワリや夕字、オスワリやフセ、フセや夕字	実際の道具を見る、トレーニングの方法をデモンストレーション				
5	・犬を家族として迎え入れる前に準備するものは？ ・名前を教える、アイコンタクト、近くを歩く	実際の道具を一部見せる				
6	・犬を家族として迎え入れる前に準備しておきたいことについて どんな犬？成犬or子犬のオスorメス、犬種など ・実習：コングを作る(中に食べ物を入れる)、回す、横につける、アテンションなど					
7	・ストレスについて 3つの「F」、カーミングシグナルについて ・実習：立ち方について(バランス良く立つ、犬側の前に立ち犬側を向くこと)	テキスト使用				
8	・犬の行動問題について、原因は？犬種の特徴、身体の不快、先天的な要因、社会化不足などについて ・実習：Tタッチ、立ち位置(犬の肩の辺りに立ち、犬側を少し向く)、リードの持ち方					
9	・学習理論：報酬はランダムにしていく、誘導から合図をつける⇒ハンドシグナル ・回す、オスワリやフセをハンドシグナル、マッチ					
10	・トイレットトレーニングについて ・ハンドシグナルでオスワリ、フセ、回す、マッチ、Tタッチ	DVD鑑賞				
11	・合図を教えるトレーニングについて					
12	・嫌悪刺激を使ったトレーニング(モチベーションを使った方法) ・自発的アイコンタクト、左右にご褒美を持った手を移動させてトレーニング					
13	セルダウン：飼い主の足元で犬が大きく落ち(フセの状態)、マダネットトレーニング：誘導とは異なり、全てのトレーニングの幹	足元でフセのトレーニングのデモンストレーション				
14	・ボテランゲージ、カーミングシグナルについて ・呼び戻し、近くを歩く(人がボール役になり、8の字で歩く)	DVD鑑賞				
15	・古典的条件付け(抵抗条件付け、逆条件付け)、正の罰について罰とは？・嫌悪刺激 ・古典的条件付けでブラシ、手、ハンドタオルで触る刺激に慣らす					
16	・散歩の引っ張りについて(ジェントルリーダー、ハルティ、イージーウォークハーネスについて)	実際の道具を見せてデモンストレーション				
17	・シェパードについて(人だけでクリッカーの練習)	トランプを使用して、人同士で練習				
18	・動画鑑賞：ハビオクラス、フリススタイルなど ・実習：クリックカートトレーニング、犬がイスの上に前足を乗せる、イスの下に頭を入れる	モニターより動画鑑賞(実際の教室の様子など)				
19	・Tool Box: 健康、環境を豊かにする、リーダーシップ、管理、妥協、原因を取り除く、系統的脱感作、ご褒美を取り除く ・ハンドシグナルのトレーニング(オスワリ、フセ、回す)	テキスト使用				
20	・Tool Box: 両立しない行動にご褒美を与える、慣らす、関連付けの改善、嫌悪刺激、Tool Boxを使って、問題を解決を考える(8組に分かれて)、実習：呼び戻し	テキスト使用				
21	・シェパード(クリックカートトレーニング) ・人同士でクリックカートトレーニング：クリッカー配布					
22	・シェパード②(クリックカートトレーニング、基準が大きい場合は細かく分ける) ・人同士でクリックカートトレーニング、犬でのシェパードデモ：イスの下に頭を入れる					
23	・シェパード③(クリックカートトレーニング) ・人同士でクリックカートトレーニング、犬にクリッカーでトレーニング					
24	・シェパード④(クリックカートトレーニング) ・人同士でクリックカートトレーニング、犬にクリッカーでトレーニング(オスワリ、フセでクリックする)					
25	・シェパード⑤(クリックカートトレーニング) ・人同士でクリックカートトレーニング、犬のクリッカーでトレーニング(イスの下に頭を入れる)					
26	・シェパード⑥(クリックカートトレーニング) ・人同士でクリックカートトレーニング、犬のクリッカーでトレーニング(イスの下に頭を入れる続き)					
27	・犬の本能：食物獲得、危険回避、繁殖⇒トレーニングで食物獲得を利用、食べ方が強い(強い)犬のトレーニング、おもちゃ遊びデモ・行動に合図を付ける					
28	・犬の本能：食物獲得、危険回避、繁殖⇒トレーニングで食物獲得を利用、食べ方が強い(強い)犬のトレーニング、おもちゃ遊びデモ・行動					
29	・古典的条件付け、抵抗条件付け、脱感作について					
30	・オペラント条件付けについて					
31	・呼び戻しについて					
32	・トリックをランダムにしてルアーを無くすトレーニングについて					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意				
レポート提出100% 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。						
実務経験教員の経歴	しつけインストラクターとして25年活動					

科目名		ビジネス経営基礎			
担当教員	岡崎 康隆	実務授業の有無	○		
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	声だしや挨拶など現場で必須のスキルを身に付け、経営の基礎を覚える。 主力商品のPOPをつくることで商品の理解と接客に必要な知識を身につける。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	ペットショップ経営において必要な基礎知識と技術が習得できるようになる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリント配布				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	店舗見学				
2	自己紹介シートを利用しながら発表形式で声だしをする。ペット業界の現在と目的を知る。				
3	経営理念とは、使命とは 社会人になるための自分ビジョン制作				
4	店舗のオペレーション(売り上げとは、接客とは、1日の流れ、発注・管理)				
5	ペットショップの売り場(売り場構成、主力商品)				
6	ペットショップの販売と仕事の流れ(発注・管理、仕入れ)				
7	商品陳列(実践) 陳列に必要なことを覚える(タグ・順序など)				
8	ホテルについて(ホテルのコース、リスクマネジメント)				
9	商品POPは何か、作成時のコツを学ぶ				
10	販売実習(商品)お気に入りの商品で販売のロープレをしてみよう!				
11	ペットショップでの生体管理犬について				
12	生体販売のアフターケアについて				
13	販売実習(生体)人形を使用し生体販売のロープレをする。 接客(インターンシップに向けて)				
14	ペットとの同行避難				
15	期末試験				
16	まとめ				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
試験100% 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	動物看護師として8年間、動物病院に勤務していた				



科目名		動物看護概論 I			
		東海林 愛美	実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	動物病院での診療補助の概要を学び、生態を取り扱う業種において日常の健康チェックとケアの知識を習得する。				
学習目標 (到達目標)	動物の健康チェック項目、ケアの基本的な道具と方法について習得する。 動物病院での基礎的な知識を身に付け、病院に限らず、ショップ等の店舗はもちろん飼い主対応にも役立てられる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス発刊 動物看護実習テキスト				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	動物病院業務について 動物を看護すること	パワーポイント資料			
2	動物の保定	パワーポイント資料、ぬいぐるみ			
3	身体検査とバイタルチェック	ぬいぐるみ、聴診器、体温計			
4	消毒	消毒液、雑巾			
5	シリンジの扱い方/投薬方法	シリンジ			
6	投薬/点眼/点耳/エリザベスカラーの装着	ぬいぐるみ、投与薬			
7	デンタルケア	歯ブラシ、ガーゼ、ぬいぐるみ、歯科模型			
8	期末試験				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		動物病院への就職も視野へ入れて幅広く知識を身につける			
実務経験教員の経歴	動物看護師として、動物病院にて13年間の実務経験あり				

科目名	犬管理実習 I				
担当教員	中野 貴行		実務授業の有無	×	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>○一般の犬を預かることでコミュニケーション向上に繋がるリスクマネジメント能力の向上</p> <p>○知らない犬をハンドリングすることで危険を回避するリスクマネジメント能力の向上</p> <p>○対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	就職時に役立つ犬の基礎ハンドリングと接客含めたコミュニケーション培う事が出来る。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	愛玩飼養管理士2級教本、セルフコーチング、犬のしつけきちんとブック				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動機付けと管理の注意事項		犬を預かり管理することへの動機付けと注意		
2	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
3	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
4	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
5	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
6	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
7	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
8	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
9	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
10	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
11	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
12	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
13	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
14	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
15	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
16	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			一般の犬が参加するため、犬に対してケガが無いような接点を実行する。		
実務経験教員の経歴					

科目名	ペットクラフト実習				
担当教員	本間 亜胡		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	多様化するペットグッズについて学び、自身で制作するための知識を身につける。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	自身でグッズを提案、制作ができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	写真の撮り方		デジカメ、スマートフォンを活用した撮影用法を学ぶ		
2	写真の撮り方		デジカメ、スマートフォンを活用した撮影用法を学ぶ		
3	写真の撮り方		デジカメ、スマートフォンを活用した撮影用法を学ぶ		
4	写真を活用したペットグッズの制作		PC、スマートフォンアプリの活用法を学ぶ		
5	写真を活用したペットグッズの制作		PC、スマートフォンアプリの活用法を学ぶ		
6	写真を活用したペットグッズの制作		PC、スマートフォンアプリの活用法を学ぶ		
7	WaN学園祭での展示・販売グッズの制作 (飼い主向け雑貨、犬猫用グッズ)		WaNファミリーをモチーフにした雑貨の研究、制作		
8	WaN学園祭での展示・販売グッズの制作 (飼い主向け雑貨、犬猫用グッズ)		WaNファミリーをモチーフにした雑貨の研究、制作		
9	WaN学園祭での展示・販売グッズの制作 (飼い主向け雑貨、犬猫用グッズ)		WaNファミリーをモチーフにした雑貨の研究、制作		
10	WaN学園祭での展示・販売グッズの制作 (飼い主向け雑貨、犬猫用グッズ)		WaNファミリーをモチーフにした雑貨の研究、制作		
11	犬猫用グッズの制作		自宅で簡単、101均素材でDIYできるグッズを制作		
12	犬猫用グッズの制作		自宅で簡単、101均素材でDIYできるグッズを制作		
13	ハーブ、アロマグッズの制作		ハーブセラピー実習で学んだことを活かして制作		
14	ハーブ、アロマグッズの制作		ハーブセラピー実習で学んだことを活かして制作		
15	ハーブ、アロマグッズの制作		ハーブセラピー実習で学んだことを活かして制作		
16	期末評価				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴					

科目名	SNS実習 I				
担当教員	富取 拓夢		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	SNSや動画投稿サイトを利用し、情報発信や人を引き付けるコンテンツの作成を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	自身で動画やブログを作成し、投稿ができるようになる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	SNSとは		SNSの種類について		
2	動画投稿サイトのしくみ		動画投稿サイトのアカウント作成		
3	動画投稿サイトのしくみ		動画投稿サイトへの投稿の仕方		
4	動画編集について		動画編集ソフトの使い方		
5	動画編集について		動画編集ソフトの使い方		
6	動画編集について		動画編集ソフトの使い方		
7	動画編集について		簡単な動画作成		
8	動画編集について		簡単な動画作成		
9	動画作成		他授業で撮影した写真をつなげて動画をつくる		
10	動画作成		撮影した動画を編集し投稿する		
11	動画作成		他学科の活動を取材しに行く		
12	動画作成		撮影した動画を編集し投稿する		
13	動画作成		他学科の活動を取材しに行く		
14	アンケートフォーム作成		アンケートフォームを作成する		
15	前期期末課題作成		前期の授業をまとめた動画を作成する		
16	振り返り		期末課題を確認しフォームを使用して投票をする		
17	ブログ作成について		ブログ作成を学ぶ		
18	ブログ作成について		ブログ作成を学ぶ		
19	取材		他学科の活動を取材しに行く		
20	ブログ作成について		取材内容をブログとしてまとめて投稿する		
21	取材		他学科の活動を取材しに行く		
22	ブログ投稿		ブログを編集し投稿する		
23	後期期末課題作成		後期の授業をまとめたブログと動画を作成する		
24	振り返り		期末課題を確認しフォームを使用して投票をする		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴					

科目名		コンピュータ実習Ⅱ			
担当教員		古俣 秀子		実務授業の有無	○
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	Excelの理解を深め、自信をもって活用できる基本技能を身につける 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	Excel表計算処理技能認定試験 3級 取得				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	Excel2019 クイックマスター 基本編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	新規フォルダー作成・ファイルコピー Chapter1 Excelの基本 Chapter2 データの編集		画面構成、用語の確認 範囲選択 文字の入力、数値の入力		
2	Chapter2 データの編集 ●問題集 練習問題1【問題2】(1)～(3)		日付の入力、オートフィル、数式、合計関数、相対参照・絶対参照、コピー・移動		
3	Chapter3 表の編集 ●問題集 練習問題2【問題2】(1)～(3)		セルの書式設定、表示形式		
4	Chapter7 関数		基本関数の意味と使い方(平均、最大、最少、データの個数、順位)		
5	Chapter8 データベース機能 ●問題集 練習問題1【問題2】(4)～(6)、【問題3】		並べ替え、フィルター		
6	●問題集 練習問題2【問題2】(4)～(6)、【問題3】 Chapter5 グラフと図形の作成 Chapter6 ブックの利用と管理		グラフ作成・編集、ワークシート名の変更、シートコピー		
7	Chapter4 ブックの印刷 ●問題集 練習問題1 完成		ページ設定、グラフ作成・編集の基本、スパークライン R21:AD22		
8	●練習問題2～3		解説誘導しながら 答案解答作成		
9	●練習問題4～5		各人のベースで解答 巡回してチェック・ポイント解説		
10	●練習問題6～7		"		
11	●練習問題8～9		"		
12	●練習問題10、模擬問題2		"		
13	●模擬問題3～4		"		
14	●模擬問題5～6		"		
15	●試験実施プログラム 模擬問題1		前問題振り返り 時間計測して実施、解答ファイル採点		
16	検定				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			パソコンスキルはどの業界へ就職しても必須となります。パソコンの基本的な操作の仕方、表計算やデータを利用した簡単な資料作成の方法をしっかりマスターしましょう。授業中に分からない事や上手く出来なかった事は休み時間を利用して練習をしましょう。		
実務経験教員の経歴		一般向けパソコン教室において20年以上関わっていた			

科目名	就職実務Ⅱ				
担当教員	中野 貴行		実務授業の有無	×	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	毎日の生活を豊かに有意義に過ごすためにも、自分らしい生きがいややりがいを持って働くためにも、働く意義をしっかりと理解した上で就職活動を進めていく。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	企業研究の方法を知ることができる。 企業訪問や就職試験について知ることができる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	動画で学ぶ 就活ナビ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	就職活動の流れ、必要書類作成について		・就職活動の基準、提出書類の種類、流れを知る ・履歴書の学歴や検定欄の更新		
2	求人検索の方法、求人票の見方		・求人検索サイトを知る ・求人票を見ながら項目ごとの意味を知る		
3	合同企業ガイダンス・会社訪問の心構え、準備		・合同企業ガイダンスへの参加に向けた準備 ・企業研究をどのように行うか知る		
4	面接のマナー、面接の形式		動画5-2～3		
5	コミュニケーションは「きく」から始まる、「話す」は「全身表現」		動画4-1～2		
6	日本語の発声法、緊張は友達、リズムカルに話す		動画4-3～5		
7	ディスカッションの基礎、筆記試験対策		動画5-4～5		
8	内定お礼状の書き方		プリント		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			個別面談を行うこともあるので、毎回授業に出席すること。就職関係の提出物などの遅れがないようにすること。		
実務経験教員の経歴					

科目名	コミュニケーション実践Ⅱ				
担当教員	中野 貴行		実務授業の有無	×	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	1年次に勉強したビジネスマナーを復習し、社会人になる準備を始める。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	社会人としてふさわしい立ち居振る舞いを身につける。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	内定先への暑中見舞い・年賀状の書き方		プリント		
2	内定先への暑中見舞い・年賀状の書き方		プリント		
3	社会人になってからのマナー(日常のマナー)		プリント		
4	社会人になってからのマナー(日常のマナー)		プリント		
5	社会人になってからのマナー(身だしなみ、敬語)		プリント		
6	社会人になってからのマナー(身だしなみ、敬語)		プリント		
7	社会人になってからのマナー(備品の名称、使い方)		プリント		
8	社会人になってからのマナー(備品の名称、使い方)		プリント		
9	社会人になってからのマナー(メール、ビジネス文書)		プリント		
10	社会人になってからのマナー(メール、ビジネス文書)		プリント		
11	社会人になってからのマナー(接待)		プリント		
12	社会人になってからのマナー(接待)		プリント		
13	社会人になってからのマナー(慶弔業務)		プリント		
14	社会人になってからのマナー(慶弔業務)		プリント		
15	社会人になってからのマナー(退職)		プリント		
16	社会人になってからのマナー(退職)		プリント		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			書類作成や個別面談をすることもあるので、毎回授業に出席し、提出物などの遅れがないようにする。		
実務経験教員の経歴					

動物飼育実習Ⅱ					
科目名					
担当教員	佐山 恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	1.動物種ごとの適切な食事や環境を提供できるようになる 2.犬の飼育に必要な接し方・ハンドリング・ケア方法を実践できるようになる 3.猫・小動物の飼育に必要な接し方・ケアの方法を実践できるようになる 4.ふれあいセンターでの実習を通し、大動物と小動物の飼育管理方法を学ぶ 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	正常な動物を知り、動物種ごとに適した飼育管理を実践できるようになる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	犬の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
2	猫の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
3	ウサギの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
4	モルモットの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
5	ハムスターの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
6	犬の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
7	猫の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
8	ウサギの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
9	モルモットの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
10	ハムスターの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
11	犬の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
12	猫の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
13	ウサギの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
14	モルモットの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
15	ハムスターの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
16	犬の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
17	猫の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
18	ウサギの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
19	モルモットの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
20	ハムスターの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
21	犬の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
22	猫の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
23	ウサギの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
24	モルモットの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
25	ハムスターの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
26	犬の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
27	猫の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
28	ウサギの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
29	モルモットの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
30	ハムスターの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
31	期末試験				
32	まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			1年生で学んだことを使用し環境を整えるだけでなく、散歩など動物を飼育するために必要なハンドリングやブラッシング技術の習得も目指す。		
実務経験教員の経歴	動物看護師として6年弱、動物病院に勤務していた				



科目名		ネットビジネス演習			
担当教員	玉川 慎一		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	インターネット通販の仕組みや販売について理解し、実際のインターネット通販にて動物関係用品の出品し、販売を経験する。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	1.インターネット通販の仕組みと特徴が理解できる。 2.販売について売するための工夫などを考察することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント配布				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	「マーケティング概論」 マーケティングに関する知識を指導する。 SWOT分析やペルソナなど売ることの基本的な知識を伝える。				
2	「ネットビジネスの仕組みと特徴」 ネットビジネスの現状と未来、仕組みを含めた形態と特徴を指導する。 モール型、自店舗型などの違いを理解してもらう。				
3	「準備」 ネットショップの操作に必要な個人アカウントの作成、予備知識の指導をおこなう。				
4	「商品を販売する」 開発した商品を実際のネットショップで販売する。ネットショップへの商品登録など技術的な内容が多くなる。下記の項目を繰り返しながら、売ることの楽しさを知ってもらう。				
5	「商品を販売する」 開発した商品を実際のネットショップで販売する。ネットショップへの商品登録など技術的な内容が多くなる。下記の項目を繰り返しながら、売ることの楽しさを知ってもらう。				
6	「商品を販売する」 開発した商品を実際のネットショップで販売する。ネットショップへの商品登録など技術的な内容が多くなる。下記の項目を繰り返しながら、売ることの楽しさを知ってもらう。				
7	「サイトを分析する」 サイトに来ているユーザーの動向や志向を分析し、仮説を立てて改善の施策を導けるようにする。				
8	「サイトを分析する」 サイトに来ているユーザーの動向や志向を分析し、仮説を立てて改善の施策を導けるようにする。				
9	「お客さまを集める」 サイトへお客さまを呼ぶためにできることを考え、実践させる。 SNSやインターネット広告と言った手法について指導をおこなう。				
10	「お客さまを集める」 サイトへお客さまを呼ぶためにできることを考え、実践させる。 SNSやインターネット広告と言った手法について指導をおこなう。				
11	「サイトを分析する」 サイトに来ているユーザーの動向や志向を分析し、仮説を立てて改善の施策を導けるようにする。				
12	「商品を開発する」 これまでの知識を踏まえ、ペット用品という前提のもと、売りたい商品を開発する(見つける)。 仕入価格、販売価格までを仕入れ先、オーナーと相談して進めること				
13	「商品を開発する」 これまでの知識を踏まえ、ペット用品という前提のもと、売りたい商品を開発する(見つける)。 仕入価格、販売価格までを仕入れ先、オーナーと相談して進めること				
14	「商品を開発する」 これまでの知識を踏まえ、ペット用品という前提のもと、売りたい商品を開発する(見つける)。 仕入価格、販売価格までを仕入れ先、オーナーと相談して進めること を教える。				
15	「商品を開発する」 これまでの知識を踏まえ、ペット用品という前提のもと、売りたい商品を開発する(見つける)。 仕入価格、販売価格までを仕入れ先、オーナーと相談して進めること				
16	課題				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題100%での評価 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴		株式会社LEApass代表取締役			

科目名	グルーミング実践				
担当教員	広川美紀		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	グルーミングの技術習得、日頃のケアを飼い主にアドバイスできる。 2人でグルーミングの行う際の準備や効率の良さを考えグルーミングを行う。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	2人で小型犬のシャンプーが30分以内で終了し、全ての作業を90分以内で終了出来るようになる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	座学 実習の流れ+犬の攻撃性と対処法				
2	グルーミング実習/チワワ、パグ				
3	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー				
4	グルーミング実習/マルチーズ、ヨークシャー・テリア				
5	グルーミング実習/ペキニーズ、柴犬				
6	グルーミング実習/シーズー、トイ・プードル				
7	グルーミング実習/チワワ、パグ				
8	グルーミング実習/チワワ、パグ				
9	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー				
10	グルーミング実習/マルチーズ、ヨークシャー・テリア				
11	グルーミング実習/ペキニーズ、柴犬				
12	グルーミング実習/シーズー、トイ・プードル				
13	グルーミング実習/チワワ、パグ				
14	グルーミング実習/チワワ、パグ				
15	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー				
16	期末試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	動物病院にて看護師兼トリマー10年、独立サロン経営18年				

科目名		エキゾチックアニマルⅡ			
担当教員	竹石 拓矢		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>ペットショップで販売されているエキゾチックアニマルについて学ぶ。  飼い主に飼育方法をアドバイスできるようになる。  対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	各生体の品種、習性、繁殖、病気について理解し、アドバイスが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	エキゾチックアニマルとは 環境エンリッチメント ハムスター6種の分類				
2	ハムスター品種・特長 ジャンガリアン、キャンベル見分け 異常繁殖の問題点 ハムスターの生態				
3	ハムスター 習性、繁殖、飼育方法				
4	ハムスター 臨床、疾病				
5	ウサギ 品種、特徴 ドワーフ遺伝子の問題点 ウサギ生態				
6	ウサギ 習性、繁殖、飼育方法				
7	ウサギ 臨床、疾病				
8	モルモット 品種・特長、生態・習性				
9	モルモット 繁殖、飼育方法				
10	モルモット 臨床、疾病				
11	フェレット 生態・習性 ファーム繁殖の現状				
12	フェレット 繁殖、飼育方法				
13	フェレット 臨床、疾病				
14	テスト+(解説)				
15	(解説)				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。</p>					
実務経験教員の経歴		ドッグトレーナーとしてトリミングサロンで勤務			

科目名	異文化研究(海外研修)				
担当教員	竹石 拓矢		実務授業の有無	×	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	<p>異国の文化(言語、気候、風習、歴史など)を研究することで日本との違いなどを考察する。  また、実際に海外に行き異国の文化に触れることで理解を目指す。  対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	異国の文化について理解を深めることができる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	無し				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	飛行機にて移動		パスポートの申請、飛行機の搭乗を経験する		
2	現地到着、研修1日目		現地での食事、お金の支払いなどを体験する		
3	研修2日目		現地での簡単な会話をしながら文化に触れる		
4	研修3日目		現地で様々な体験を通して文化に触れる		
5	研修4日目、日本へ帰国				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。</p>					
実務経験教員の経歴	ドッグトレーナーとして約1年間トリミングサロンにて勤務				

科目名		ペットビジネス概論			
担当教員	山崎 恵子		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	ペット業界を取り囲む社会の現状を知り、どのようなサービスがあるか、どのようなサービスが求められているかを学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	ペット関連サービスについて理解することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ペット業界を取り囲む社会の現状1				
2	ペット業界を取り囲む社会の現状2				
3	ペット医療の今後1				
4	ペット医療の今後2				
5	ペットショップの今後				
6	ペットの預かり業-デイケア				
7	ペットの預かり業-ホテル				
8	ペットシッターとは				
9	ペット可のレジャー施設-遊園地				
10	ペット可のレジャー施設-ホテル、ペンション等				
11	出張サービスの在り方				
12	ホスピス、老犬ホーム等				
13	各種動物カフェ				
14	触れ合い施設				
15	ペットグッズ1				
16	ペットグッズ2				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			動物業界の最新情報を知るチャンスなので、毎回出席すること。		
実務経験教員の経歴		動物業界団体で活動			

科目名		犬管理実習			
担当教員	中野 貴行		実務授業の有無	×	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>○一般の犬を預かることで飼い主と犬とのコミュニケーション能力の向上</p> <p>○知らない犬をハンドリングすることで危険を予測、回避するリスクマネジメント能力の向上</p> <p>○対面授業で実施</p>				
学習目標 (到達目標)	将来に役立つ犬の基礎ハンドリングと接客を含めたコミュニケーション培う事が出来る。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	愛玩飼養管理士2級教本、セルフコーチング、犬のしつけきちんとブック				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動機付けと管理の注意事項		犬を預かり管理することへの動機付けと注意		
2	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
3	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
4	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
5	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
6	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
7	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
8	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
9	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
10	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
11	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
12	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
13	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
14	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
15	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
16	管理実践		一般の方から愛犬のお預かりと管理を実践		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			一般の犬が参加するため、犬に対してケガが無いような接点を実行する。		
実務経験教員の経歴					

科目名						ホリスティックケア概論					
担当教員		東海林 愛美			実務授業の有無		○				
対象学科		ペットケア・ビジネス		対象学年		2		開講時期		通年	
必修・選択		必修		単位数		3		時間数		64	
授業概要、目的、授業の進め方		ホリスティックケア・カウンセラーについてテキストを併用しながら、ホリスティックについて学ぶ。小テスト4回を各回の区切りで実施し、最終試験を実施する。 対面授業で実施。									
学習目標 (到達目標)		ホリスティックケア・カウンセラーに合格できる									
テキスト・教材・参考図書・その他資料		ホリスティックケア・カウンセラー養成講座vol.1、vol.2、DVD、プリント配布									
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	ホリスティックとは ホリスティックケアと食事										
2	中医学養生										
3	中医学養生										
4	振り返り										
5	手作り食										
6	サプリメント										
7	ハーブ										
8	アロマテラピー										
9	肉球クリーム制作										
10	マッサージ(DVD視聴)										
11	マッサージ(犬に実践)										
12	マッサージ(猫に実践)										
13	Tタッチ(DVD視聴)										
14	振り返り										
15	期末試験										
16	まとめ										
17	バッチフラワーレメディ										
18	レスキュークリーム制作										
19	カウンセリング(理論とロールプレイング)										
20	カウンセリング実践										
21	カウンセリング実践										
22	試験対策										
23	期末試験										
24	まとめ										
評価方法・成績評価基準					履修上の注意						
試験100% 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。											
実務経験教員の経歴		動物看護師として動物病院勤務実績									

科目名	ペットライフアドバイザー実習				
担当教員	平石 理恵		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物の扱い方の基礎技術を習得する。 お客様に動物の魅力を伝え、新たに動物を飼育してもらうための知識とプレゼン能力を習得する。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	動物との暮らしの魅力を伝え、飼い主に飼育方法をアドバイスできる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	犬との触れ合い方 抱っこの仕方、アドバイス		抱っこやふれあいの実践		
2	犬との触れ合い方 抱っこの仕方、アドバイス		抱っこやふれあいの実践		
3	接客ロープレ		飼い主へのアドバイスロープレ		
4	猫との触れ合い方 抱っこの仕方、アドバイス		抱っこやふれあいの実践		
5	猫との触れ合い方 抱っこの仕方、アドバイス		抱っこやふれあいの実践		
6	接客ロープレ		飼い主へのアドバイスロープレ		
7	うさぎ 抱っこの仕方、食事アドバイス		抱っこやふれあいの実践		
8	うさぎ 抱っこの仕方、食事アドバイス		抱っこやふれあいの実践		
9	モルモット 抱っこの仕方、食事アドバイス		抱っこやふれあいの実践		
10	ハムスター 抱っこの仕方、食事アドバイス		抱っこやふれあいの実践		
11	接客ロープレ		飼い主へのアドバイスロープレ		
12	エキゾチックアニマルの飼育管理 トカゲ、リクガメ		飼育方法について実践を交えて学ぶ		
13	ネイチャーアクアリウムの管理		ネイチャーアクアリウムの魅力を知り、道具や管理方法を学ぶ		
14	振り返り				
15	期末試験				
16	まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴		動物看護師として約4年勤務			



科目名		ペットクラフト実習Ⅱ			
担当教員	本間 亜胡		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	多様化するペットグッズについて学び、自身で制作するための知識を身につける。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	自身でグッズを提案、制作ができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	写真の撮り方		デジカメ、スマートフォンを活用した撮影用法を学ぶ		
2	写真の撮り方		デジカメ、スマートフォンを活用した撮影用法を学ぶ		
3	写真の撮り方		デジカメ、スマートフォンを活用した撮影用法を学ぶ		
4	写真の撮り方		デジカメ、スマートフォンを活用した撮影用法を学ぶ		
5	写真の撮り方		デジカメ、スマートフォンを活用した撮影用法を学ぶ		
6	写真を活用したペットグッズの制作		PC、スマートフォンアプリの活用法を学ぶ		
7	写真を活用したペットグッズの制作		PC、スマートフォンアプリの活用法を学ぶ		
8	写真を活用したペットグッズの制作		PC、スマートフォンアプリの活用法を学ぶ		
9	WaN学園祭での展示・販売グッズの制作 (飼い主向け雑貨、犬猫用グッズ)		PC、スマートフォンアプリの活用法を学ぶ		
10	WaN学園祭での展示・販売グッズの制作 (飼い主向け雑貨、犬猫用グッズ)		PC、スマートフォンアプリの活用法を学ぶ		
11	WaN学園祭での展示・販売グッズの制作 (飼い主向け雑貨、犬猫用グッズ)		PC、スマートフォンアプリの活用法を学ぶ		
12	WaN学園祭での展示・販売グッズの制作 (飼い主向け雑貨、犬猫用グッズ)		WaNファミリーをモチーフにした雑貨の研究、制作		
13	写真を活用したペットグッズの制作		WaNファミリーをモチーフにした雑貨の研究、制作		
14	写真を活用したペットグッズの制作		WaNファミリーをモチーフにした雑貨の研究、制作		
15	写真を活用したペットグッズの制作		WaNファミリーをモチーフにした雑貨の研究、制作		
16	期末評価				
17	犬猫用グッズの制作		自宅で簡単、101均素材でDIYできるグッズを制作		
18	犬猫用グッズの制作		自宅で簡単、101均素材でDIYできるグッズを制作		
19	犬猫用グッズの制作		自宅で簡単、101均素材でDIYできるグッズを制作		
20	犬猫用グッズの制作		自宅で簡単、101均素材でDIYできるグッズを制作		
21	犬猫用グッズの制作		自宅で簡単、101均素材でDIYできるグッズを制作		
22	犬猫用グッズの制作		自宅で簡単、101均素材でDIYできるグッズを制作		
23	犬猫用グッズの制作		自宅で簡単、101均素材でDIYできるグッズを制作		
24	犬猫用グッズの制作		自宅で簡単、101均素材でDIYできるグッズを制作		
25	ハーブ、アロマグッズの制作		ハーブセラピー実習で学んだことを活かして制作		
26	ハーブ、アロマグッズの制作		ハーブセラピー実習で学んだことを活かして制作		
27	ハーブ、アロマグッズの制作		ハーブセラピー実習で学んだことを活かして制作		
28	ハーブ、アロマグッズの制作		ハーブセラピー実習で学んだことを活かして制作		
29	ハーブ、アロマグッズの制作		ハーブセラピー実習で学んだことを活かして制作		
30	ハーブ、アロマグッズの制作		ハーブセラピー実習で学んだことを活かして制作		
31	ハーブ、アロマグッズの制作		ハーブセラピー実習で学んだことを活かして制作		
32	期末評価				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴					

科目名	商品開発概論				
担当教員	川口 和清		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	<p>ペットフードという人が食さない製品の開発には、独特の側面や規制があるという事を理解しながら商品開発について考察する。他科目と連携を図りながら、ただ美味しいだけではない新商品の開発を目指す。対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	商品開発に携わり販売促進に貢献できる人材になる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	参考テキスト：商品開発学～商品はこうしてつくる～改訂新版				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	商品開発とは何か。必要なスキルについて。		法律、栄養学、ペットフードについての知識を確認する。		
2	商品開発の流れについて 1		商品が完成するまでの経過を、段階を追って知る。		
3	商品開発の流れについて 2		段階ごとに必要な内容を学ぶ。		
4	既存製品について 1		中身、パッケージ、カタログ等を実際に見て確認する。		
5	既存製品について 2		中身、パッケージ、カタログ等を実際に見て確認する。		
6	流通や販売価格について		商品の流通経路、およびその価格体系を学ぶ。		
7	ネーミングについて		実際に商品名を考察してみる。		
8	販売者からみた商品(開発)とは		売る立場で、商品をどう捉えるかを考察する。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットフードメーカーにて商品開発を手掛けた				

科目名		SNS実習Ⅱ			
担当教員	岡崎 康隆		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数	3	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	SNSや動画投稿サイトを利用し、情報発信や人を引き付けるコンテンツの作成を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	自身で動画やブログを作成し、投稿ができるようになる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	SNSとは		SNSの種類について		
2	動画投稿サイトのしくみ		動画投稿サイトのアカウント作成		
3	動画投稿サイトのしくみ		動画投稿サイトへの投稿の仕方		
4	動画編集について		動画編集ソフトの使い方		
5	動画編集について		動画編集ソフトの使い方		
6	動画編集について		動画編集ソフトの使い方		
7	動画編集について		簡単な動画作成		
8	動画編集について		簡単な動画作成		
9	動画作成		他授業で撮影した写真をつなげて動画をつくる		
10	動画作成		撮影した動画を編集し投稿する		
11	動画作成		他学科の活動を取材しに行く		
12	動画作成		撮影した動画を編集し投稿する		
13	動画作成		他学科の活動を取材しに行く		
14	アンケートフォーム作成		アンケートフォームを作成する		
15	前期期末課題作成		前期の授業をまとめた動画を作成する		
16	振り返り		期末課題を確認しフォームを使用して投票をする		
17	ブログ作成について		ブログ作成を学ぶ		
18	ブログ作成について		ブログ作成を学ぶ		
19	取材		他学科の活動を取材しに行く		
20	ブログ作成について		取材内容をブログとしてまとめて投稿する		
21	取材		他学科の活動を取材しに行く		
22	ブログ投稿		ブログを編集し投稿する		
23	後期期末課題作成		後期の授業をまとめたブログと動画を作成する		
24	振り返り		期末課題を確認しフォームを使用して投票をする		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	動物病院にて8年間の実務経験あり				

科目名		ビジネス経営実践			
担当教員	岡崎 康隆		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	声だしや接拶など現場で必須の基礎のスキルを1年次に身に付けたいための、経営の実践。主力商品のPOPをつくることで商品の理解と接客に必要な知識を身につける。対面授業で実施。				
学習目標(到達目標)	ペットショップ経営において必要な基礎知識と技術が習得できるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント配布				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	経営理念とは、使命とは 社会人になるための自分ビジョン制作				
2	店舗のオペレーション(売り上げとは、接客とは、1日の流れ、発注・管理)				
3	ペットショップの売り場(売り場構成、主力商品)				
4	ペットショップの売り場(売り場構成、主力商品)				
5	ペットショップの売り場(売り場構成、主力商品)				
6	ペットショップの販売と仕事の流れ(発注・管理、仕入れ)				
7	WaN学園祭での展示・販売グッズの制作 (飼い主向け雑貨、犬猫用グッズ)		WaNファミリーをモチーフにした雑貨の研究、制作		
8	WaN学園祭での展示・販売グッズの制作 (飼い主向け雑貨、犬猫用グッズ)		WaNファミリーをモチーフにした雑貨の研究、制作		
9	WaN学園祭での展示・販売グッズの制作 (飼い主向け雑貨、犬猫用グッズ)		WaNファミリーをモチーフにした雑貨の研究、制作		
10	WaN学園祭での展示・販売グッズの制作 (飼い主向け雑貨、犬猫用グッズ)		WaNファミリーをモチーフにした雑貨の研究、制作		
11	WaN学園祭での展示・販売グッズの制作 (飼い主向け雑貨、犬猫用グッズ)		WaNファミリーをモチーフにした雑貨の研究、制作		
12	WaN学園祭での展示・販売グッズの制作 (飼い主向け雑貨、犬猫用グッズ)		WaNファミリーをモチーフにした雑貨の研究、制作		
13	WaN学園祭での展示・販売グッズの制作の成果発表 (飼い主向け雑貨、犬猫用グッズ)		実際の売り上げを確認、分析		
14	WaN学園祭の分析、今後の展望		データを分析し、経営学を学ぶ		
15	期末試験				
16	まとめ				
17	商品陳列(実践)陳列に必要なことを覚える(タグ・順序など)				
18	ホテルについて(ホテルのコース、リスクマネジメント)				
19	商品POPは何か、作成時のコツを学ぶ				
20	販売実習(商品)お気に入りの商品で販売のロープレをしてみよう!				
21	ペットショップでの生体管理犬について				
22	生体販売のアフターケアについて				
23	期末試験				
24	まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験100% 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴		動物病院にて8年間の実務経験あり			

科目名	ハーブセラピー実習				
担当教員	東海林 愛美	実務授業の有無	○		
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	働きや使い方など基礎知識を学び、ハーブをペットとの生活に取り入れる方法を学ぶ。対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	ペットグッズに活用できる人材になる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホリスティックケア・カウンセラー養成講座vol1、プリント配布				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	ハーブの概要(意義、働き、使い方、注意点) ハーブティーの試飲	好みのハーブティを探し自分の状態を知る			
2	ハーブ石鹸	ハーブ石鹸の制作			
3	虫よけサシェ	犬の虫よけとして使用できるハーブを使ったサシェを制作			
4	アロマストーン	アロマセラピー実習で制作したアロマ持参 アロマストーンの制作			
5	ワックスバー	アロマセラピー実習で制作したアロマ持参 ワックスバーの制作			
6	猫おもちゃに使用できるハーブ	おもちゃを各自制作し、中にハーブを入れる			
7	猫おもちゃに使用できるハーブ	猫に自作おもちゃを使って遊ばせてみる			
8	まとめ				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	動物病院にて、動物看護師として13年実務経験				

科目名	ペットアロマセラピー実習				
担当教員	広川 美紀		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	アロマセラピーとは、アロマ(芳香)とセラピー(療法)をあわせた言葉で、動物が本来持っている自然治癒力を高める働きをする。芳香植物から抽出した100%天然のエッセンシャルオイル(精油)には、種類により生体に作用を及ぼす様々な成分が含まれているので、これらを使用して身体や心の健康作りに活かそう、という自然療法の一つである。同時に良い香りに囲まれて楽しみながら学べるのも魅力の一つである。 対面授業で実施。				
学習目標(到達目標)	アロマセラピーの意味を理解し、アロマセラピーを実践する事ができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホリスティックケアカウンセラーvol2 犬と猫のための自然療法				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	アロマセラピーとは		資料を使つての講義		
2	精油の抽出方法、特徴		資料を使つての講義		
3	生態理論と導入方法+スプレー製作		アロマ製作		
4	関係法令+クリーム製作		アロマ製作		
5	ドッグマッサージの手法		アロマ製作		
6	アロマオイル作製+ドッグマッサージ実技		アロマ製作		
7	クレイ作製(別日で学校犬で実践予定)		アロマ製作		
8	カウンセリング実技(試験対応)		ワーク形式		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴					

科目名	公衆衛生学				
担当教員	東海林 愛美		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	各種微生物の基礎知識の習得、及び消毒・滅菌について理解をし、感染症についての知識を身につける 対面授業で実施				
学習目標 (到達目標)	各種微生物の基礎知識の習得、及び消毒・滅菌について理解をし、感染症についての知識を身につける。また、ワクチンについて飼い主に説明できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ビジュアルで学ぶ動物看護学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	公衆衛生学を学ぶ意義 感染とは		テキスト、資料の使用		
2	微生物 微生物とは、原虫		テキスト、資料の使用		
3	微生物 真菌、細菌、ウイルス、プリオン		テキスト、資料の使用		
4	洗浄、消毒と滅菌(洗浄・消毒・滅菌の違いとその特徴)		テキスト、資料、消毒薬見本の使用		
5	洗浄、消毒と滅菌(消毒・滅菌の方法と使い分け)		テキスト、資料、消毒薬見本の使用		
6	免疫学 免疫機構、抗原と抗体、免疫性疾患、アレルギー		テキスト、資料の使用		
7	免疫学(ワクチンの種類/ワクチンで予防できる感染症/ワクチン接種プログラムと副反応)		テキスト、資料の使用		
8	感染症 ウイルス①(犬の病気)		テキスト、資料の使用		
9	感染症 ウイルス②(猫の病気)		テキスト、資料の使用		
10	感染症 細菌、真菌、寄生虫①(外部寄生虫)		テキスト、資料の使用		
11	感染症 寄生虫②(内部寄生虫)		テキスト、資料の使用		
12	感染症 寄生虫③(内部寄生虫)		テキスト、資料の使用		
13	人獣共通感染症①		テキスト、資料の使用		
14	人獣共通感染症②		テキスト、資料の使用		
15	期末試験				
16	公衆衛生学まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			小テストを実施しながら理解度を確認する		
実務経験教員の経歴		動物病院にて、動物看護師として13年実務経験			

科目名					
アニマルトレーニング実習					
担当教員		岡崎 康隆		実務授業の有無	
				○	
対象学科		ペットケアビジネス学科 総合動物飼育コース		対象学年	
				2	
必修・選択		選択		開講時期	
				通年	
		単位数		時間数	
		2		64	
授業概要、目的、授業の進め方		動物(モルモット、ハムスター、ウサギなど)のトレーニングについて学ぶ 対面授業で実施			
学習目標 (到達目標)		学習の仕組みを理解し、動物と生活する上で必要なトレーニングができる。			
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		猫とのくらしが変わる遊びのレシピ(誠文堂新光社)			
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	トレーニングはなぜ必要なのか			パワーポイント資料+R15:AP23	
2	行動の原理と学習の仕組み			パワーポイント資料	
3	行動の原理と学習の仕組み			学校しゆく動物の観察	
4	クリックートレーニング			パワーポイント資料、実習	
5	クリックートレーニング			実習	
6	ターゲットトレーニング			実習	
7	ターゲットトレーニング			実習	
8	オテとハイタッチ			実習	
9	オテとハイタッチ			実習	
10	環境エンリッチメント			パワーポイント資料	
11	環境エンリッチメント			実習	
12	環境エンリッチメント			実習	
13	ハズバンドリートレーニング			パワーポイント資料	
14	ハズバンドリートレーニング			実習	
15	筆記試験				
16	フィードバック				
17	トレーニング計画の立案			パワーポイント資料	
18	トレーニング計画の立案			実習	
19	計画に沿ってトレーニング			実習	
20	計画に沿ってトレーニング			実習	
21	計画に沿ってトレーニング			実習	
22	計画に沿ってトレーニング			実習	
23	計画に沿ってトレーニング			実習	
24	計画に沿ってトレーニング			実習	
25	計画に沿ってトレーニング			実習	
26	計画に沿ってトレーニング			実習	
27	計画に沿ってトレーニング			実習	
28	計画に沿ってトレーニング			実習	
29	トレーニング成果発表			実習	
30	トレーニング成果発表			実習	
31	まとめ				
32	フィードバック			1年の総まとめ	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				1年次にドッグトレーニングを学び、トレーニングの基礎知識を身に付けていることが前提となる。	
実務経験教員の経歴		動物病院にて8年間の実務経験あり			



科目名		水槽管理			
担当教員	佐藤 真司		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科 総合動物飼育コース	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数	3	時間数	96
授業概要、目的、授業の進め方	ペットショップで取り扱われている観賞魚について学ぶ。 観賞魚の飼育管理、器具の取り扱い方、バックングの方法を水槽管理を行いながら学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	観賞魚の飼育方法、器具の取り扱いを説明できる。 観賞魚を販売する際のバックング作業ができる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	オリジナル教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	観賞魚について、水槽についての説明		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
2	水槽、フィルター、照明、水槽台セット		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
3	流木、水草のセット		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
4	水槽管理、水質測定		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
5	水槽管理(換水方法説明)、水質測定		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
6	水槽管理(ガラス面の擦り方説明)、水質測定		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
7	水槽管理(スターティングフィッシュ導入)、水質測定		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
8	水槽管理、水質測定		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
9	水槽管理、水質測定、飼育魚の選定		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
10	水槽管理、水質測定、飼育魚の導入		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
11	水槽管理、水質についての講義		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
12	水槽管理、水槽器具、水槽用品についての講義		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
13	水槽管理、餌についての講義		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
14	水槽管理、魚病についての講義		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
15	水槽管理(フィルターのメンテナンス)		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
16	水槽管理、バックング練習①		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
17	水槽管理、バックング練習②		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
18	水槽管理、観賞魚販売時の注意点についての講義①		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
19	水槽管理、観賞魚販売時の注意点についての講義②		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
20	水槽管理、魚の扱い方について(ネットの扱い方)		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
21	水槽管理、魚の扱い方について(魚の数え方)		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
22	水槽管理、アクアリウムショップの水槽システムについて		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
23	水槽管理、アクアリウムショップで取り扱う観賞魚の種類①		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
24	水槽管理、アクアリウムショップで取り扱う観賞魚の種類②		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
25	水槽管理、アクアリウムショップで取り扱う観賞魚の種類③		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
26	水槽管理、アクアリウムショップで取り扱う観賞魚の種類④		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
27	水槽管理、アクアリウムショップで取り扱う観賞魚の種類⑤		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
28	水槽管理、アクアリウムショップで取り扱う観賞魚の種類⑥		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
29	水槽管理、アクアリウムショップで取り扱う観賞魚の種類⑦		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
30	水槽管理、アクアリウムショップで取り扱う観賞魚の種類⑧		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
31	バックング等の復習		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
32	観賞魚販売時の実技テスト		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	観賞魚販売店で4年間勤務していた				

科目名		昆虫・爬虫類飼育概論 I			
担当教員		富取 拓夢		実務授業の有無	○
対象学科	ペットケア・ビジネス学科 総合動物飼育コース	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	昆虫や爬虫類の生体を理解し、飼育方法や管理において気を付けるべきことを学ぶ。対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	主な昆虫、爬虫類についての特徴、飼育方法、病気などを理解することができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	カラーアトラス エキゾチックアニマル爬虫類・両生類(緑書房)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	昆虫の飼育器具について				
2	昆虫の飼育方法について				
3	昆虫の飼育方法について				
4	各分類				
5	動物種の特徴				
6	動物種の特徴				
7	昆虫の代表的な病気について				
8	昆虫の代表的な病気について				
9	昆虫の代表的な病気について				
10	昆虫の代表的な病気について				
11	カメについて				
12	カメについて				
13	トカゲについて				
14	トカゲについて				
15	期末試験				
16	総まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴					

科目名	昆虫・爬虫類飼育概論Ⅱ				
担当教員	富取 拓夢		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科 総合動物飼育コース	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	昆虫や爬虫類の生体を理解し、飼育方法や管理において気を付けるべきことを学ぶ。対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	主な昆虫、爬虫類についての特徴、飼育方法、病気などを理解することができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	カラーアトラス エキゾチックアニマル爬虫類・両生類(緑書房)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ヘビについて				
2	ヘビについて				
3	両生類(カエル)について				
4	両生類(カエル)について				
5	両生類(サンショウウオ)について				
6	両生類(サンショウウオ)について				
7	代表的な種類について				
8	代表的な種類について				
9	爬虫類の飼育器具について				
10	爬虫類の飼育方法について				
11	爬虫類の飼育方法について				
12	爬虫類の代表的な病気について				
13	昆虫についてまとめ				
14	爬虫類についてまとめ				
15	期末試験				
16	総まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴					

科目名		動物飼育実践			
担当教員	新潟市動物ふれあいセンター	実務授業の有無	○		
対象学科	ペットケア・ビジネス学科 総合動物飼育コース	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、 授業の進め方	新潟市動物ふれあいセンターで現場スタッフの一員として展示動物と譲渡対象動物の飼育管理方法を学ぶ。また、お客様への対応を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	展示動物、譲渡対象動物の飼育管理や展示の仕方を知ることができる。				
テキスト・教材・参考図 書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	新潟市動物ふれあいセンターでの実習(アルパカ)	現場での飼育管理実習			
2	新潟市動物ふれあいセンターでの実習(うさぎ・モルモット)	現場での飼育管理実習			
3	新潟市動物ふれあいセンターでの実習(羊・山羊)	現場での飼育管理実習			
4	新潟市動物ふれあいセンターでの実習(保護犬・保護猫)	現場での飼育管理実習			
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。		回数が限られた現場での実習なので欠席をすることがないようにする。			
実務経験教員の経歴	新潟市動物ふれあいセンターへ委託				

科目名	ペットライフアドバイザー概論				
担当教員	稲川 祥子		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	すべてのライフステージにおいて、より質の良い生活を送るための知識を学び、ワーク形式でアドバイスのスキルを身につける。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	より良い生活が送れるよう、飼い主に幅広い選択肢を提案できる人材になる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動物を飼育するための準備 (品種、飼育費用、ペット保険、寿命等)		終生飼養のために飼い主が知るべき情報収集		
2	生前環境による影響 (性格、遺伝、疾患等)		犬種図鑑、猫種図鑑を活用 犬種別の起こりやすい疾患		
3	子犬子猫のケア		ミルクの調合、離乳食の計量実践		
4	長生きの秘訣 (フード量計算、体重測定、体脂肪測定)		1年次栄養学の復習、看護実習の復習		
5	アンチエイジング (お家でできる体幹トレーニング、ジム)		知育玩具やバランスボールを使用		
6	ライフステージ別の遊び方(幼齢期)		知育玩具を使用、屋外散歩		
7	ライフステージ別の遊び方(維持期)		知育玩具を使用、屋外散歩		
8	ライフステージ別の遊び方(高齢期)		知育玩具を使用、屋外散歩		
9	犬の猫のデンタルケア		デンタルグッズによるハミガキ実践		
10	ペットフードとおやつ選び方 (与えても良い食材、フードの種類、添加物等)		1年次栄養学の復習、実際のペットフードを見る		
11	散歩中の危険スポットを探る (寄生虫、病原微生物)		屋外にて危険スポットマップを作成		
12	災害時の備え		防災グッズの準備		
13	ドッグカフェでのマナー		A棟6Fフロアにて、ドッグカフェの模擬演習		
14	スモールペットの野生に近い暮らし		1年次エキゾチックアニマルの復習		
15	グリーフケア、エンジェルケア		グループワーク		
16	期末試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴		動物病院にて、動物看護師として5年実務経験			

科目名		ペットグッズアドバイザー実習			
担当教員	稲川 祥子		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	すべてのライフステージにおいて、より質の良い生活を送るための知識を学び、ワーク形式でアドバイスのスキルを身につける。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	より良い生活が送れるよう、飼い主に幅広い選択肢を提案できる人材になる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動物を飼育するための準備 (品種、飼育費用、ペット保険、寿命等)		終生飼養のために飼い主が知るべき情報収集		
2	生前環境による影響 (性格、遺伝、疾患等)		犬種図鑑、猫種図鑑を活用 犬種別の起こりやすい疾患		
3	子犬子猫のケア		ミルクの調合、離乳食の計量実践		
4	長生きの秘訣 (フード量計算、体重測定、体脂肪測定)		1年次栄養学の復習、看護実習の復習		
5	アンチエイジング (お家でできる体幹トレーニング、ジム)		知育玩具やバランスボールを使用		
6	ライフステージ別の遊び方(幼齢期)		知育玩具を使用、屋外散歩		
7	ライフステージ別の遊び方(維持期)		知育玩具を使用、屋外散歩		
8	ライフステージ別の遊び方(高齢期)		知育玩具を使用、屋外散歩		
9	犬の猫のデンタルケア		デンタルグッズによるハミガキ実践		
10	ペットフードとおやつ選び方 (与えても良い食材、フードの種類、添加物等)		1年次栄養学の復習、実際のペットフードを見る		
11	散歩中の危険スポットを探る (寄生虫、病原微生物)		屋外にて危険スポットマップを作成		
12	災害時の備え		防災グッズの準備		
13	ドッグカフェでのマナー		A棟6Fフロアにて、ドッグカフェの模擬演習		
14	スモールペットの野生に近い暮らし		1年次エキゾチックアニマルの復習		
15	グリーフケア、エンジェルケア		グループワーク		
16	期末試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴		動物病院にて、動物看護師として5年実務経験			

科目名		ペットケア実習			
担当教員	竹石 拓矢		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科 ペットライフアドバイザーコース	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬、猫、うさぎ、モルモット、ハムスターの爪切り、耳掃除等の身体的ケアを実践する(シャンプーを除く)</li> <li>・Tタッチ、リーディング、ボディラップの技法と効果を学び実践する</li> <li>・ハーブ、マッサージ、ペットエステの効果を学び実践する</li> </ul> 対面授業で実施				
学習目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペット動物(犬、猫、うさぎ、モルモット、ハムスター)の身体的ケアの仕方を学び、実践できる。</li> <li>・ペット動物(犬、猫、うさぎ、モルモット、ハムスター)の心身のバランスやストレスサインを読み取ることが出来、状態に応じた対応や効果の期待できる施術・ケアが実践できる。</li> </ul>				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	ペットの身体的、精神的ケアの必要性				
2	犬のケア用品を学びケアを実践				
3	猫のケア用品を学びケアを実践				
4	うさぎのケア用品を学びケアを実践				
5	モルモット、ハムスターのケア用品を学びケアを実践				
6	犬の体のバランス、Tタッチ実践①				
7	犬の体のバランス、Tタッチ実践②				
8	猫・スモールペットの体のバランス、Tタッチ実践①				
9	猫・スモールペットの体のバランス、Tタッチ実践②				
10	ハーブ①				
11	ハーブ②				
12	ドッグマッサージ①				
13	ドッグマッサージ②				
14	ペットエステ(パック、タフロック)				
15	期末試験				
16	期末試験解説				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ドッグトレーナーとして約1年間トリミングサロンにて勤務				

科目名		猫概論			
担当教員	岡崎 康隆		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科おこ飼育ブ ロコース	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、 授業の進め方	「猫」について、猫種と特徴、行動、健康管理、生活、トレーニングを学ぶ。 また、猫に関する環境やそれに関する商品の知識を身に付け、プレゼンを行う。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	猫に関する幅広い知識を身につけ、猫との生活において必要な健康管理、環境(食、住)についてアドバイスができる。				
テキスト・教材・参考図 書・その他資料	①猫を極める本(インターズー)、②猫とのくらしが変わる遊びのレシピ(誠文堂新光社)、③まるごとわかる猫種大図鑑(学研)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	猫を取り巻く現状		パワーポイント資料		
2	猫と人との関わりの歴史		パワーポイント資料		
3	猫の種類と特徴①		パワーポイント資料、猫種図鑑		
4	猫の種類と特徴②		パワーポイント資料、猫種図鑑		
5	猫の種類と特徴③		パワーポイント資料、猫種図鑑		
6	猫の種類と特徴 小テスト		自身で猫を3種類選択し紹介スライドを作成、発表する		
7	猫のコミュニケーション①:猫同士のコミュニケーション方法		パワーポイント資料		
8	猫のコミュニケーション②:猫のボディランゲージ		実習(実際に猫を観察し、ボディランゲージの確認)		
9	猫のコミュニケーション③:猫と遊ぶ		実習(狩猟本能を満たす猫との遊び方を実践する)		
10	猫の完全室内飼育のメリットとデメリット		パワーポイント資料、グループディスカッション		
11	猫との生活で問題となる行動		パワーポイント資料		
12	猫との生活環境①:一般的な飼育環境とより良くするための工夫		パワーポイント資料、グループディスカッション		
13	猫との生活環境②:環境改善の提案		グループ作業(理想の生活空間を考える)		
14	猫との生活環境③:猫にやさしい空間づくり		グループ作業(②で出た意見をもとに模型を作成する)		
15	筆記試験				
16	フィードバック		夏期休暇の課題として猫のおもちゃを考え自作する		
17	猫に関係する商品①(おもちゃ、ケージ、キャットタワーなど)		実物を用意し、用途や特徴を確認する		
18	猫に関係する商品②(被り物、洋服、ケア用品など)		実物を用意し、用途や特徴を確認する		
19	猫の健康管理①:猫の健康チェック		パワーポイント資料、実習(健康チェック)		
20	猫の健康管理②:食事と飲水		パワーポイント資料、グループディスカッション		
21	猫の健康管理③:トイレに関する問題		パワーポイント資料		
22	猫の健康管理④:腎臓病について		パワーポイント資料		
23	猫の健康管理⑤:病気の予防(ワクチン接種、外部寄生虫)		パワーポイント資料		
24	猫のトレーニング①:猫に必要なトレーニングとは、行動の原理		パワーポイント資料		
25	猫のトレーニング②:クリックートレーニング		実習(クリックートレーニング)		
26	猫のトレーニング③:ターゲットによる誘導		実習(指についてくるように教える)		
27	猫のトレーニング④:健康管理のトレーニング(ハズバンドリートレーニング)		実習(爪切りや、開口といった健康管理に繋がる行動を教える)		
29	子猫の管理		パワーポイント資料		
30	高齢猫の管理		パワーポイント資料		
31	筆記試験				
32	フィードバック		1年の総まとめ		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。		猫に特化してさらに深く学ぶにあたって、1年次で学ぶ解剖学や生理学、基本的な飼育管理の知識を習得していることが前提である			
実務経験教員の経歴	動物病院にて8年間の実務経験あり				



科目名	猫グルーミング				
担当教員	山田佳枝		実務授業の有無	×	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科ねこ飼育プロセス	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	犬とは違う生態の猫のグルーミング方法を学ぶ 対面授業で実施				
学習目標 (到達目標)	猫それぞれの個体に合わせたグルーミング方法を選択し、実践できるようになる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	猫グルーミングの流れ、注意点について学ぶ。				
2	2人で1頭の猫をグルーミング(WaNファミリー)		猫の保定を覚える。		
3	2人で1頭の猫をグルーミング(職員飼育猫)				
4	2人で1頭の猫をグルーミング(WaNファミリー)				
5	2人で1頭の猫をグルーミング(職員飼育猫)				
6	2人で1頭の猫をグルーミング(WaNファミリー)				
7	2人で1頭の猫をグルーミング(職員飼育猫)				
8	期末試験				
9	2人で1頭の猫をグルーミング(WaNファミリー)		徐々に1人でグルーミング出来るようにしていく。		
10	2人で1頭の猫をグルーミング(職員飼育猫)				
11	2人で1頭の猫をグルーミング(WaNファミリー)				
12	2人で1頭の猫をグルーミング(職員飼育猫)				
13	2人で1頭の猫をグルーミング(WaNファミリー)				
14	2人で1頭の猫をグルーミング(職員飼育猫)				
15	2人で1頭の猫をグルーミング(WaNファミリー)				
16	期末試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴		専門学校教員歴 15年			

科目名					
猫トレーニング実習					
担当教員	岡崎 康隆		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科ねこ飼育プロセス	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数	3	時間数	104
授業概要、目的、授業の進め方	猫のトレーニングについて学ぶ 対面授業で実施				
学習目標 (到達目標)	学習の仕組みを理解し、猫と生活する上で必要なトレーニングができる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	①猫を極める本(インターズー)、②猫とのくらしが変わる遊びのレシピ(誠文堂新光社)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	猫にトレーニングは必要なのか		パワーポイント資料		
2	行動の原理と学習の仕組み		パワーポイント資料		
3	行動の原理と学習の仕組み		学校猫の観察		
4	クリックートレーニング		パワーポイント資料、実習		
5	クリックートレーニング		実習		
6	ターゲットトレーニング		実習		
7	ターゲットトレーニング		実習		
8	オテとハイタッチ		実習		
9	オテとハイタッチ		実習		
10	環境エンリッチメント		パワーポイント資料		
11	環境エンリッチメント		実習		
12	環境エンリッチメント		実習		
13	ハズバンドリートレーニング		パワーポイント資料		
14	ハズバンドリートレーニング		実習		
15	筆記試験				
16	フィードバック				
17	トレーニング計画の立案		パワーポイント資料		
18	トレーニング計画の立案		実習		
19	計画に沿ってトレーニング		実習		
20	計画に沿ってトレーニング		実習		
21	計画に沿ってトレーニング		実習		
22	計画に沿ってトレーニング		実習		
23	計画に沿ってトレーニング		実習		
24	計画に沿ってトレーニング		実習		
25	計画に沿ってトレーニング		実習		
26	計画に沿ってトレーニング		実習		
27	計画に沿ってトレーニング		実習		
28	計画に沿ってトレーニング		実習		
29	トレーニング成果発表		実習		
30	トレーニング成果発表		実習		
31	まとめ				
32	フィードバック		1年の総まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			1年次にドッグトレーニングを学び、トレーニングの基礎知識を身に付けていることが前提となる。		
実務経験教員の経歴	動物病院にて8年間の実務経験あり				